

体育会通信

~Dark Blue Sports~

LIFESTAGE
2005

各種大会で大活躍の体育会。ここでは、そんな体育会の戦況や、現在行われている七大戦を紹介します。みんなで京大の体育会を応援しましょう！ (b)



一. 七大戦結果

クラブ名	順位	クラブ名	順位
アイスホッケー	6	女子ソフトテニス	3
アーチェリー	4	体操	1
空手	4	卓球	1
弓道 (男子)	5	馬術	2
弓道 (女子)	6	男子バスケットボール	3
グライダー	2	女子バスケットボール	6
剣道 (男子)	2	バドミントン (男子)	6
剣道 (女子)	5	バドミントン (女子)	2
硬式庭球 (男子)	5	男子バレーボール	5
硬式庭球 (女子)	7	女子バレーボール	5
ゴルフ	1	ハンドボール	3
自動車	6	フェンシング	1
柔道	5	ヨット	4
準硬式野球	6	男子ラクロス	6
少林寺拳法	1	女子ラクロス	1
水泳	2	陸上競技 (男子)	1
スキー競技	2	陸上競技 (女子)	2
男子ソフトテニス	2	総合	3

今年の夏に、九州大学で行われた七大戦の結果が出揃いました。7月号で紹介したフェンシング部は、期待通り見事1位を獲得しています。その他の各部も健闘し、総合では3位という結果になりました。応援して下さった方々、本当にありがとうございました。体育会の、今後の更なる活躍を楽しみにしていきましょう。



二. 卓球部インタビュー

——七大戦優勝おめでとうございます。卓球は小さい頃からされていたのですか？

はい、小学校5年生のときから中学、高校を通じて卓球はずっとやってきました。大学に入るまでは毎日練習をしていたのですが、大学に入ってからはいろいろとやるのがあって練習量は落ちてしまいました……。でもかえってそのことによって、練習量の少ない中でも工夫して、自分が一番やりやすいように卓球ができるようになったのでよかったと思います。

——七大戦を勝ち抜く上で苦労したことはありましたか？

ダブルスが一番苦労しましたね。団体戦のダブルスでは負けた試合もあったので決して余裕で優勝できたわけではありませんでした。

——なるほど。それでは三冠を達成したときはやはり喜びは大きかったわけですか？

そうですね。監督には全勝するように言われていたのですが……。

——卓球の魅力は何ですか？

工夫のしがいがある所ですね。相手にあわせて色々とプレースタイルを変えるんですよ。よく考えてプレーすれば力が上の選手に勝つことも可能ですし。

——なるほど。七大戦で優勝して勢いに乗る京大卓球部ですが、これからの目標と心構えを教えてくださいませんか？

関西リーグでとりあえず2部に残ることが目標です。今回の七大戦は4回生がいなくなって初めての団体戦だったわけですが、4回生がいなくても優勝できたことで、部全体としては大きな自

卓球部は今回の七大戦で見事優勝を果たし、4年連続優勝という快挙を成し遂げました。その中でも団体、シングルス、ダブルスすべてで優勝し、三冠王に輝いた森部達さん（工・物理工・2回）に今回インタビューをさせていただきました。



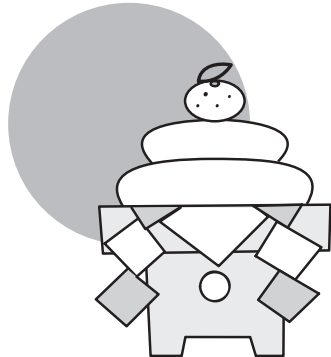
▲卓球台の上を白球が飛び交う

信になったと思います。「やってやろう」という雰囲気が部内に生まれました。

——いい流れですね。それでは来年も七大戦優勝をお願いします。ありがとうございました。

三. 活動紹介 ～馬術部拝賀騎乗～

京大馬術部では毎年1月1日（元日）の早朝に、1回生部員が馬に乗って平安神宮まで行く、「拝賀騎乗」というイベントが行われます。このイベントは試合デビュー以外で1回生部員が唯一主役になれるものであり、1回生は上回生を家来のように付き従えることができます。



以前は1回生が1人で乗っていたのですが、トラックに馬が驚き、民家に突っ込んだり、犬にほえられて爆走したりと危険なこともあったので、より安全で快適な騎乗を目指し、昨年からは1回生の乗る馬の責任者がひいて参拝するようになりました。

拝賀騎乗に使う馬は1回生が自分の好きな馬を選ぶことになっています。好きな馬に乗って平安神宮に参拝し、多くの参拝客の注目を集め、写真を撮られるのは大変気持ちよく、馬術部員として新しい年を迎えられたことに心から喜びを感じる瞬間でもあります。ただし、上回生にとっては眠いわ、寒いわ、元日に実家に帰れないわで散々なのですが……。

まあ、とにもかくにも京都有数の観光地である平安神宮に大好きな馬に乗って



▲平安神宮前。馬も元旦が待ち遠しい？

参拝するというのは一生に残る素敵な思い出となります。去年は元日に雪が積もってしまい、残念ながら拝賀騎乗は中止になってしまいましたので、今年こそは実施できるよう祈るばかりです。もし拝賀騎乗をする馬術部一行を見かけましたら、お気軽に声をおかけください。